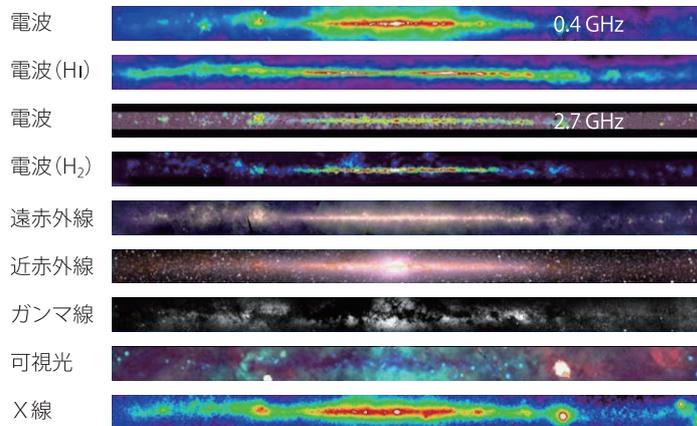


## 『天の川が消える日』 正誤表（第1版第1刷）

以下の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正します。

口絵 11 および 80 ページ，90 ページにある図 2-2 を以下の図に差し替えて下さい。



- p.81 1 行目: (誤) ①電波 (8.4 GHz = 波長 3.6 センチメートル)

⇒ (正) ①電波 (0.4 GHz = 波長 75 センチメートル)

- p.88 最後の行から

(誤) まず、電波で見た天の川である。図の一番上は、周波数の高い 8.4 GHz (ギガヘルツ: ヘルツは 1 秒間あたりの振動数で、ギガは 10 億を意味する) の電波で見た天の川の姿である。この電波の大半は、光速に近いスピードで運動する電子が磁力線の周りをらせん運動するときに放射するシンクロトロン放射がその起源である。一方、上から 3 番目は、周波数の低い 2.7 GHz で見た姿だ。こちらは、熱放射の成分を見ている。

⇒ (正) まず、電波で見た天の川である。図の一番上は、周波数の低い 0.4 GHz (ギガヘルツ: ヘルツは 1 秒間あたりの振動数で、ギガは 10 億を意味する) の電波で見た天の川の姿である。この電波の大半は、熱放射の成分である。一方、上から 3 番目は、周波数の高い 2.7 GHz で見た姿だ。光速に近いスピードで運動する電子が磁力線の周りをらせん運動するときに放射するシンクロトロン放射がその起源である。